

建築の職能に対する意識等の調査について

中 島 一

The Investigation of Awareness on Function of Architect

Hajime NAKAJIMA

この報告は、建築の職能について、建築領域内での研究・調査にとどまることなく、学際的な思考の立場から、地域社会の中でどのように理解されているかを調査し、解析したものに検討を加えたものである。

はじめに

ルイス・エ・カーンは、彼の論文「構造と形」の中で、次のようなことを述べている。

自然は、物理的自然は測りうるものである。感情と夢は尺度を持たず、言葉もなく、また全ての人の夢は一回限りである。人は何時でも、彼のつくる物よりも大きい存在である。

と。私どもの生活の中で、建築は常に知らず知らずのうちに何らかの形で働きかけ、働きかけている。

従来「建築」の考え方は、個としての「建築」に中心をおき、その中で生活充足の場として考えられてきた。しかし、建築を通じての行為は、社会環境との密接なかかわりを持つ現実を認識するならば、これらを含めた「建築」をとりあげ研究し、追求しなければならないことはいうまでもない。いな現在、この考え方にもとずき建築の領域をとりあげ、種々の成果があげられていることは、すでに各種のレポートや作品で認識するものである。

しかし、ともすると、領域の中での研究調査は、体制内の諸問題の検討に中心がおかれ、その学際的な思考に欠けるうらみもあることは事実であろう。

私は、この点に着目し、「建築の機能」が地域社会の中で、どのように理解されているかを調査し、解析し、検討を加えたものが、この報告である。

調査の方法とその内容

調査は、第5回建築総合展が昭和50年9月27日から10月1日の5日間、名古屋市昭和区の名古屋市吹上ホールで社団法人愛知建築士会、中部経済新聞社共催で開催され

た。今回のこのテーマは「明るく住みよい住宅」とされ、開催期間中の見学者は約13万人であった。

この第1、第2日目すなわち9月27日、28日の両日にわたり、午前10時、午前12時、午後2時、4時の4回に区切り各時間帯に200名の入場者に別添アンケート用紙を配布し、それぞれ直接記入方式により回収したものである。

配布総数1600で、この回収数は1016、回収率は92%となった。

調査対象者の年齢は、31~40才が321名(31.59%)で最高、次に21~30才の291名(28.64%)、41~50才の251名(24.70%)で、31~40才をピークとして、正規分布の形態をとっている。調査対象者の職業は、一般社員が701名で最高で、建築関係が129名(12.70%)次に主婦の113名(11.12%)であり、学生の50名(4.92%)無回答の23名となっている。この中の一般社員とあるのは、建築関係とは直接かかわりのない職業をもつ者である。この分類は、当然市民の意識を問うわけで、明確に分類した。

調査対象者の性別をみると、男性が847名(83.37%)女性が148名(14.57%)無回答が21名となっており、女性の場合が男性の6倍弱となっている。いつほう、主婦が113名(11.12%)となっているが、この性別による女性が148名で、差引35名が、主婦以外の職業となっている。これを分類すると、建築関係者が18名、一般社員7名、学生10名となっている。

調査結果の概要と検討

1. 単純集計

1) 日本建築家協会の存在について一般に建築に関係

する人びとの多くが「建築士」（1級または2級）という名称を用いている。これはわが国での「建築士法」による建築設計監理を行なううえでの技術面の資格であるが、法律の性格があいまいなので、全く設計監理を行わない人たちまで資格をとり、官公庁、諸建築関係団体、学校のほか施工や材料業者にまで多くの建築士がいる。

建築士会は、建築士法にもとづく、建築士の資格を有することを条件とした全員の協力によって、建築士の品位の向上およびその業務の進歩改善を図り、建築文化の進歩発展に寄与することを目的としている。

いつぼう建築家(architect)とは、生活の表現としての建築芸術に熟達した者として、人類の生活し、また労働する場所を創造し、またそれに命を吹きこむ資格のあるもの(UIA(国際建築家連盟)憲章より)であり、設計監理については、自由で独立した保持することができる人だけが、本来建築家とよばれており、この団体を日本建築家協会という。

この日本建築家協会への入会資格は、原則として1級建築士資格取得後、一定年限以上の実務経験があり、建設業や建築材料業等の役員や社員でないもの等となっている。

さて、日本建築家協会(以下家協会という)という建築団体の存在についての設問であるが、よく知っているが325名(31.98%)、知っているが414名(40.74%)となっている。この反面知らないが272名(26.77%)、無回答が5名(0.49%)となっている。この結果をみると、739名(72.74%)の大多数の者が知っているもの、272名、すなわち、3分の1程度の者が知らないと回答していることは、注目しなければならない。

しかし、後でもふれなければならないが、設計の委嘱についての設問に対し、建築士に委嘱するとしているのが542名(52.35%)、建築家に委嘱するとしているのが183名(18.01%)となっているが、これらから推察すると、家協会の存在の知っている、よく知っている者の中にはあるいは建築士会(以下士会という)の存在を家協会の存在と混同している者が相当あるのではないかと思われる。このことは、ある意味での有知識者であると考えられる国会議員が「独禁法違反のおそれあり」との参議院の委員会における質問演説の中で、同様の混同をされていることを考え合せると、一般市民で混同した者がいることは、事実と認めざるを得ない。と同時に市民は、それは、「どちらでもよい」、「そのようにいくつかの建築団体が必要だろうか」との素朴な質問がはね返ってくるに違いないと考えたくなる。そのことは、さらに別の調査によりこの点は解明しなければならない重要な事柄であろう。

2) 設計と施工について

建築行為の一貫性あるいは分離、独立については、斯界においては、常に問題を提起している。あるときは、造船界の現状を基礎として一貫制妥当論、責任体制確立論、欧米の実情認識論、芸術追求可能性等々、数多くの論文を見うけることができるが、今もって、これについての決定的なものはない。

ところが、今回の調査結果をみると、設計施工の一貫制が適当とするのが504名(49.61%)で1位、次に分離を適当とするのが417名(41.04%)となっているとおり、一貫性がやや優位となっている。その他どちらでもよいが82名(8.07%)、その他が7名、無回答が6名となっている。ここでは単純集計のみについて述べたが、次の項においては相関係をみて、さらに説明を加えたい。

3) 設計の委嘱先について

設計を委嘱する場合、だれに委嘱するかとの設問である。これについては、建築士の542名(52.93%)が最高で、次の建築施工業者の211名(20.61%)、3位が建築家の183名(17.87%)となっているが、第4位の大工さんの57名(5.57%)、その他9名(5%)、無回答の12名と、4位以下は極めて少数である。

この設問に対して、ある意味では、建築士法、建築基準法に対する意識が優先して、その判断から、建築士が最高となっているものと考えられるが、いずれにしても建築家が第3位に位置づけられていることは、注目しなければならない。また建築施工業者の第2位は、設計施工の一貫制賛成の504名(49.61%)を数えているものの、施工業者の中に建築士がいるから、その建築士が設計を担当するものとしているのが211名(20.61%)と考えたとすると、前記の建築士に委嘱するとしたら542名にこの数を加えた数となり753名(73.54%)という大多数の者が建築士が設計に従事し、それに設計を委嘱するのであるとの回答であるともいえる。

4) 設計者の選択について

設計者の選択については、非常に重要なことである。婦人向けの月刊雑誌や週間雑誌には、よくこのような特集が掲載されているので、多くの主婦の目に止まっていることだろう。

さて、選択については、信頼できる人が727名(70.30%)の最高で、第2位は知り合いの人の175名(16.92%)ではあるが、信頼できる人が断然多いことは、当然のことである。第3位は紹介があった人の119名(11.51%)、次にその他の8名、無回答の5名の順である。

5) 住宅建築の設計について

住宅建築を実際実施しようとしたとき、いろいろの問題が周囲において、これを解決しなければならない。ところが、考えあぐね、よい相談者が是非必要となってくる。

いっぽう在来工法によるものは、よくいわれる『出来上ってから』の価値評価では不安であるとして、プレハブの方へと考え方の移行もある。

ここで、これらについて設問した結果は、建築家に依頼すべきだとするのが757名(74.29%)で圧倒的に多く、次に大工さんに一任が151名(15.82%)、プレハブがよいが65名(6.3%)、その他34名、無回答が12名となっている。大工さんに一任としているのは、常日ごろ大工さんの仕事ぶり、住宅の出来ばえ、はては人から等が共鳴できるからとしているからである。

なお第1位の建築家に依頼すべきだとしている者の中には、建築士との混同もあるといえることは、すでに前述により考え方を述べたとおり、建築家を建築士と読み替えて回答を寄せたものもあると考えたい。

6) 希望住宅面積について

別添アンケートのとおり、家族構成を夫婦と子供2名の合計4名の標準的核家族と一定条件にした場合の希望床面積の調査である。この結果は132㎡すなわち40坪が適当としているのが465名(45.77%)、99㎡(30坪)が405名(9.86%)、さらに132㎡以上(40坪以上)が140名(13.73%)、無回答6名となっている。

この設問については、工事費には言及していないものの、回答者は、ある程度の意識も働らいていた結果であることはいなめないまでも、まず核家族、家族4名の構成として、この場合の床面積は132㎡(40坪)程度、または99㎡(30坪)以上が適当と考えている者がほとんどであると判断してよからう。

これらを見ると『狭いながらも楽しい我が家』の現在の理想は、ささやかではあるが、132㎡(40坪)の床面積によって象徴されると考えられるが、この発想は、現在居住の住宅の実態からきていて、それを脱して大きな床面積の実態は考えることができないとみるべきだろう。

7) 分譲マンションについて

庭付き戸建て住宅に相当の魅力があることは事実で、その数は696名(68.50%)となっており、他を大きく引離している。次に庭付きマンションならよいが227名(22.34%)である。また第3位は職住近接のマンションならよいが74名(7.28%)、無回答28名、その他が18名である。これらを見ると第2位の庭付マンションならよ

いとしている者は、マンションに対しては賛意を表しているが、この中で欠落しているのが庭、緑である。この装置、環境を是非とり入れてほしいとの意見とうけとめたい。

2. 関係性についての検討

1) 日本建築家協会の存在

この家協会をよく知っている、知っている者を対象年令別にみると、必ずしも顕著な例はない。しかし、その中でも61~70才の者が96%すなわち、ほとんどの者が了知している。次に31~40才の者が75.1%で第2位、21~30才が第3で71.8%、41~50才が71.5%というように40才前後の者がよく存在を知っていることがわかる。

職業別に見ると、建築関係者はさすがに最高位で、90.5%、第2位が83%、一般社員の71%が第3位となっている。これらの順位で家協会の存在を了知している。

性別に見ると、男性の場合が75%、女性ののち62%がそれぞれ家協会の存在を知っていることがわかる。

2) 設計施工の関係について

設計施工を分離すべきであるとしている者の年令別について見ると、51~60才の者が50%分離すべきであると答え、次に70才以上、第3位が20才以下の41.8%、30~40才の39%の順であるが、このことは年令構成順とは必ずしも一致しない。

職業別にみると、建築関係者においては、56%の者が分離に賛成、次に学生の42%、一般社員の41%、主婦の24%が分離に賛成している。しかし、建築関係者のうち44%すなわち約半数の者は分離を必ずしも適当と考えていないことは注目したい。

性別についてみると、女性の64%、男性の43.5%が分離に賛意を表している。

日本建築家協会をよく知っている、知っている者の分離について見ると、46.8%の者が賛成しているが、53.2%の者が分離は適当でないと考えている。設計施工の一貫制についてみる、年令別については、20才以下の者が53%賛成、第2位は61~70才の52%、第3位は31~40才の者の51%、51~50才および21~30才の者が49%賛成となっている。これは、若年層ほど一般に一貫制賛成としていることは注目したい。

3) 設計の委嘱先について

建築家に委嘱するとしている者の年令別について見ると51~60才のうち28%が建築家に、次に21~30才の者が19.5%、31~40才が17%と続いている。これについての年令別に対する特異性は見受けられない。

建築士に委嘱するとしている者の年令別についてみる

と、20才以下が61%が最高位、61~70才が60%で第2位、21~30才が59%、41~50才が51%と続いている。これを前退の建築家の場合とを比較すると必ずしも同一傾向は見当らない。

職業別に見ると建築家としている者については、学生が20%、主婦の19%、一般社員の17.7%、建築関係者の17%となっている。

いっぽう建築士としている者について見ると、建築関係者が64%、学生が第2位の62%、一般社員の52%、次に主婦の43.5%となっている、いずれにしても、建築家、建築士に委嘱すべきであると回答している者の数は、他の委嘱者の数をはるかにしのいでいることはわかる。

以上、いろいろと解析し、検討を加えてきたが、また設計者の選択、住宅建築の設計について、希望住宅面積、分譲マンションについては、別添表1のとおりである。

む す び

以上、いろいろの角度から解析、検討を加え、その内容については、前述のとおりである。

これらによってわかるとおり、建築家と建築士の区別

認識は、必ずしも十分な理解がない。したがって、日本建築家協会は、あるいは建築士会と混同されているであろうことなど、今後の活動、あるいは基本的にはそのあり方について、検討を要するものであろう。

設計施工の一貫性についての現実の理解は必ずしも、われわれと考えを一にしているとはいえない。

しかし、設計委嘱は、建築専門家にその回答の多いのは、せめてもの救いであろう。

住宅希望面積は、いずれも100㎡(床面積)以上としていることは、特に住宅という生活の本拠の確立上、大いに考えなければならないことである、この手立ての重要性を更に認めなければならない。

なお住宅の庭付きに対する魅力は、この調査結果から、さらに根強いことを知るものであるが、しかし、マンションでも、何らかのこの装置があればとの希望者の多いことは注目しなければならない。

この調査にあたっては、日本建築家協会東海支部、愛知建築士会の会員の皆さん、特に担当役員の方々に種々の御配慮をいただいた。またこの集計、調整にあたっては、建築学科助手松本壮一郎君および同中島研究室の諸君の協力を得た。記して謝意を表したい。

(昭和51年1月10日受付)

建 築 に つ い て の ア ン ケ ー ト

最近建築についていろいろの問題や意見が出されていますが、皆様方はどんなご意見でしょうか。お尋ねいたします。

愛知工業大学 中 島 研 究 室

1. あなたの社団法人日本建築家協会という組織があることをご存知ですか
 1. よく知っている。
 2. 知っている
 3. 知らない
2. 建築について設計と施工を分離する方がよいか、また一貫した方がよいか、どのようにお考えですか
 1. 設計と施工は別々にすべきである
 2. 設計と施工は一貫して建築施工業者がする方がよい
 3. どちらでもよい
 4. その他 ()
3. あなたは設計を次の誰に委嘱したらよいとお考えですか
 1. 建 築 家
 2. 建 築 士
 3. 建 築 施 工 業 者
 4. 大 工 さ ん
 5. その他 ()

4. 設計者を選ぶ場合、下記のどれがよいとお考えですか

1. 知りあいの人
2. 紹介があった人
3. 信頼できる人
4. その他 ()

5. 住宅建築についてどうお考えですか

(a) 住宅建築の設計について

1. 或る程度設計料を支払っても建築家に依頼すべきだ
2. プレハブの方がよい
3. 大工さんに一任する
4. その他 ()

(b) 住宅の面積は次のうちどれが適当と思われるか

標準世帯夫婦子供2人の場合と仮定したとき

1. 30坪 (99 m^2)
2. 40坪 (132 m^2)
3. 40坪以上 (132 m^2 以上)

(c) 今後の都市住宅は庭付戸建住宅は不可能になると思われませんが、あなたは分譲マンションについてどう思われますか

1. 多少遠距離でも庭付戸建住宅の方がよい
2. マンションでも庭付の設計がとり入れられていればよい
3. 通勤に時間がかからないからマンションの方がよい
4. その他 ()

あなたの 年 令 才
職 業
男・女 (○印をおつけ下さい)

表1 “建築”の職能についての意識調査集計

	年齢					性別					職業					学歴					収入					その他												
	20以下	21~30	31~40	41~50	51以上	男	女	専業主婦	パート	無職	その他	高専	短大	大卒	大学院	100万円以下	101~200万円	201~300万円	301~400万円	401~500万円	500万円以上	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他				
23	27																																					
4	52	43	15	10	3	2																																
7	179	286	205	59	19	1	1																															
3	27	36	30	11	3	2																																
6	4	1	1			11																																
31	250	270	208	61	22	2	3	47	123	656	11	10																										
5	39	46	40	11	2	2	1	3	2	38	100	5																										
2	3	3	3	1	1	8		4	7	2	8																											
7	80	102	87	26	15	3	5	12	70	205	28	10	280	34	11																							
15	129	129	93	25	9	4	21	47	292	45	3	852	58	4																								
14	82	78	70	23	1	2	2	17	11	201	49	3	210	56	6																							
		2	1	1			1	1	3	1	5	38																										
15	115	126	104	38	12	2	5	21	78	285	28	10	869	95	10	182	164	69	2																			
19	144	166	125	30	13	3	4	24	45	357	69	9	401	14	8	127	202	174	1																			
2	26	28	19	5			2	5	10	48	16		65	1	3	12	47	27	1																			
4	3							1	6			1	6	28																								
2	1							1	5		5	6	28		1	2	2	1																				
5	57	54	39	21	2	1	2	10	32	124	22	18	151	68	4	77	71	35																				
22	173	170	129	27	15		7	31	83	356	49	1	461	40	12	180	229	122	2																			
6	40	75	61	17	7	4		5	18	155	32		158	11	3	46	81	82	2																			
1	12	16	19	8	1			1	8	39	9	1	45	3	1	15	19	23																				
8	4	6	1					2	3	11	2	3	16	1		3	6	5																				
2	4	2	2				2	1	7	1	10		1	3	5	1	5	4	1																			
3	36	57	48	18	8	3	2	3	14	136	16	6	152	18	5	59	76	40																				
4	25	38	36	13	2		1	4	7	97	9	2	105	12	2	31	44	42																				
28	239	229	167	46	17	2	8	43	104	479	87	14	596	117	14	234	296	192	3																			
2	3	2	1					3	3	2		6	2	4	3	11		1	6																			
1	1	1	1				1	1	3		1	4	1	1	2	2	1	1	2																			
23	234	251	174	50	18	4	3	41	102	524	77	13	651	96	10	255	317	163	2																			
2	11	20	22	8	1		1	1	6	46	10	2	5	12	3	18	22	24																				
9	33	40	46	13	5	1	4	5	21	99	23	3	113	33	5	43	56	51																				
2	9	8	8	3	2			2	3	1	25	3	2	28	4	2	9	15	10																			
4	3	2	1					2		8		3	7	4	1	3	4	4																				
5	39	150	103	28	11	2	7	4	56	302	30	13	354	43	8	116	183	105	1																			
24	143	140	106	37	10	2	3	32	59	315	51	5	384	71	10	167	177	128	3																			
7	49	30	41	9	4	1	1	14	13	80	29	4	103	34	3	51	52	37																				
2	1	1	1					1	4		1	6		1	2	2	1	4	1																			
21	185	220	65	49	22	3	4	26	77	481	75	10	560	97	12	207	267	192	3																			
11	73	71	50	15	2	1	4	19	35	140	28	5	185	37	5	77	99	51																				
3	25	18	20	6	1		1	2	10	53	6	3	67	5	2	24	31	19																				
6	5	4	2				1	2	1	11	2	2	13	4	1	5	8	5																				
1	2	7	12	3		1	2	1	6	16	2	3	22	5	1	12	9	5																				

初 *印には複数回答あり